

令和4年度 札幌バレーボール協会 運営方針

令和3年度は、令和2年度に引き続き、コロナ禍に見舞われることとなりました。しかし、令和3年度においては、各部の創意工夫を持った様々な対応により、大きな成果を上げる場面も数多くあったように思われます。令和4年度においては、令和3年度よりも、さらに多くの成果を上げ、進化をしていかなければなりません。皆様、多いに頑張っていきましょう。

今年度は従来のスタイルにとらわれることなく、様々な場面で、各部でさらなる進化をすることを目標に、以下の基本方針をもって今年度の事業を計画いたします。

【未来ある児童・生徒の活動に向けて】

- 1 小学生・中学生・高校生チームの積極的普及・指導・強化を推進する。合わせて、指導者の一層の資質向上を図り、指導者資格の取得も推奨する。

【大会の定期的な実施と健全な大会運営について】

- 2 市民大会や協会が主催する各地区大会を確実に実施できるよう、協会の組織を挙げて取り組む。
- 3 札幌協会が主管する「天皇杯・皇后杯北海道ラウンド」や「春高 第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会」の大会運営を、協会の財政・大会のイベント性をあげるために、大いに進化させる。

【Vリーグ大会の健全な運営とチームの普及と強化について】

- 4 Vリーグ大会（サフィールヴァ北海道・デンソーエアリービーズ）の運営に、小学生・中学生・高校生の指導普及や強化等を含め、積極的にかかわっていく。
- 5 競技スポーツとして全道的・全国的な視野に立って、チームの競技力向上・強化に努める。

【関係友好団体との健全な関わりについて】

- 6 北海道協会、近隣協会、登録チーム及び友好団体との連携を密にして、組織的かつ機能的な協会運営とバレーボール愛好者の増加に努める。
- 7 関係友好団体と協調のうえ、生涯スポーツとしての一層の普及発展に努める。

【協会役員の資質向上と新規役員の発掘について】

- 8 質の高い審判員養成と若手審判員の発掘・育成に努める。
- 9 全ての大会が適正に運営できる競技役員の育成に努める。
- 10 ボランティア精神に富む若手スタッフの発掘と役員登用を進める。